

訂正

宣伝効果の媒体
例示部分に加筆
しました

市長記者会見発表資料	
平成31年1月11日(金)	
担当課 担当者	鳥取砂丘・ジオパーク推進課 (小谷)
連絡先	20-3036 (内線 2541)

砂の美術館第11期展示経済波及効果について

砂の美術館第11期展示については、「砂で世界旅行・北欧編」をテーマに、448,802人(第10期405,328人 昨年比43,474人増)の来場者をお迎えすることができました。

アンケートでは来場者の93.3%が砂の美術館の印象は良いという高い評価をいただくとともに、90.2%を県外者が占め、また65.7%が宿泊され、砂の美術館が地域経済の活性化や滞在型観光の充実に貢献することができました。

このアンケート結果等に基づいた経済波及効果及び宣伝効果の概要について、以下の通りお知らせします。

経済波及効果

100億7千万円

来場者アンケートデータをもとに鳥取県産業連関表を用いて算出

経済波及効果の内訳

□直接的経済効果 65億4千万円

・直接的経済効果とは実際に支出された額のことを言います。

※算出方法: 来場者アンケートデータをもとに県外、県内及び宿泊、日帰りに分け鳥取県統計課の「補助ツール: 観光消費額試算用」を利用し観光消費額を推計。

□間接的経済効果 35億3千万円

・間接的経済効果とは大きく1次波及効果と2次波及効果に分けられます。

第1次波及効果 22億4千万円

・1次波及効果は直接的経済効果分の支出に対して、調達した財・サービスの内訳を指します。

第2次波及効果 12億8千万円

・2次波及効果は1次波及効果で発生した額が各家計に所得として割り振られ消費に回された額を指します。

宣伝効果

2億3千万円

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEB等(全国版、地方版)の放送、掲載等より広告料換算し算出

・テレビ全国版 約22分程度放送:1億7200万

【TBS(ニンゲン観察バラエティ「モニタリング」)、日本テレビ(ZIP)、NHK(プラタモリ)ほか】

・テレビ地方版 約46分程度放送:4000万

【NKT、TSK、BSS、朝日放送、山陽放送、MBS、NCN、ぴよんぴよん、海外メディアほか】

・新聞、雑誌、ラジオ、WEB、その他:2200万円

【日本海新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、山陰中央新報、産経新聞、日本経済新聞、中国新聞、小学館(ビッグコミック)、昭文社(マップル)、FM山陰、FM鳥取、RCC(広島)、NHK広島、山陰DC事業関連ほか】

傾向と分析まとめ

・鳥取砂丘の入込は、年々減少傾向にあるが、砂の美術館の入込はV字回復している。

(鳥取砂丘の1~12月の入込 今年1,087,972人 昨年1,161,640人 対前年比△73,668人)

・砂の美術館の入館者の中でも近畿を中心として県外客の割合が増加(約0.4%増)している。

・広報宣伝効果は、前年より微減となっている。

といった傾向が表れており、新たな指定管理者の運営による、DCキャンペーンを含め効果的な宣伝PRの取組や毎月切れ目なくワークショップ等事業を実施したことが功を奏し、入館者数が増加し、経済効果を押し上げたと分析します。

